

【79】 イベントと電車

関西万博の会場へ行く大阪メトロ中央線の夜間の事故で、大勢の来場者が帰宅できなくなり、会場内に仮泊せざるをえなかったというニュースを聞いて、ある出来事を思い出しました。

横浜スタジアムでの野球の試合が熱戦で長引き、試合が終わるのは横浜市営地下鉄の終電の後になることが予想されたので、市交通局は手をまわして臨時ダイヤを組んで観客を輸送する手はずを整えたのです。

しかし、問題が一つありました。

当時、臨時のダイヤを組むときは運輸省の許可を得なければならなかったのですが、深夜のこととて運輸省の担当者も不在で連絡がとれないのです。

市の担当者が困っていると、市長（旧建設省OBの高秀秀信氏）が責任はオレがとるからドンドン電車を出せとのことで、臨時便を出して観客を運びました。

運輸省の許可を得ないで電車を動かしたというので、翌日、交通局の担当者は事情説明と謝罪のため運輸省から呼び出されたのですが、この時も市長がオレが行って説明をすればいいと言いついたので、運輸省も来なくても書類を出せばよいということで収まったとのことでした。

これは市長さんから直接伺った話です。

今回の関西万博のケースでは、地下鉄の他の路線やJR西日本の電車は終夜運転したといいますから、このような状況は改善されたのでしょうか。

博覧会やスポーツ大会などのイベントは一ヶ所に大勢の人を集めるので、その交通路の維持に神経を使うのは当然ですが、終了時刻がのびたとか、事故が起きた時とか異常時の対応をあらかじめ考えておかねばなりません。